

第 50 回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時：2014 年 1 月 20 日（月） 3：00～5：00pm

2. 場 所：東京理科大学 森戸記念館 2F 会議室

3. 出席者（順不同、敬称略）

	役職	氏名	所属	出欠
1	議長	三木 哲也	電子情報通信学会	出
2	幹事	鶴原 稔也	電子情報通信学会	出
3	委員	夏 恒	日本機械学会	出
4		林 克己	日本技術士会	出
5		橋本 義平	日本技術士会	出
6		剣持 庸一	日本工学教育協会	出
7		宮越 直樹	日本原子力学会	出
8		酒井 祐之	電気学会	出
9	オブザーバー	川上 理英	日本工学教育協会	出
10	事務局	木暮 賢司	日本工学会 事務局	出

4. 議題

- ①第 49 回技術倫理協議会議事録(案) について（審議）（技倫資料 50-3）
- ②平成 25 年度活動報告（中間報告）について（報告、メール審議済）（技倫資料 50-4）
- ③平成 26 年度事業計画について（報告、メール審議済）（技倫資料 50-5）
- ④来年度の具体的な活動計画について（審議）
- ⑤WG の今後の進め方について（審議）
- ⑥アンケート結果分析に基づくアクション計画について（審議）（技倫資料 50-6, 7, 8）
- ⑦第 9 回技術倫理協議会公開シンポジウムのまとめ（報告）（技倫資料 50-6, 7, 8）
- ⑧WECC2015 の企画について（審議）（技倫資料 50-9）
- ⑨各学協会活動報告（報告）（技倫資料 50-10）
- ⑩次回協議会の日程について
- ⑪その他

5. 配布資料：

- 技倫資料 50-1：第 50 回技術倫理協議会 議題表
- 技倫資料 50-2：第 50 回技術倫理協議会 出欠表
- 技倫資料 50-3：第 49 回技術倫理協議会 議事録(案)
- 技倫資料 50-4：日本工学会 技術倫理協議会 平成 25 年度事業報告（中間報告）
- 技倫資料 50-5：日本工学会 技術倫理協議会 平成 26 年度事業計画
- 技倫資料 50-6：日本工学会 技術倫理協議会 第 9 回公開シンポジウム 開催結果報告書(理事会報告用)
- 技倫資料 50-7：第 9 回公開シンポジウム 開催結果報告書《案》（技術倫理協議会用）
- 技倫資料 50-8：アンケート調査の概要
- 技倫資料 50-9：WECC2015 の企画について
- 技倫資料 50-10：第 50 回技術倫理協議会 会員活動報告.

6. 議 事

①前回議事録案の確認（技倫資料 50-3）

- ・原案通り了承。

②平成 25 年度活動報告（中間報告）について（技倫資料 50-4）

- ・資料の「全体」の欄の上から 7 行目『結果として、7 回の協議会』を『結果として、5 回の協議会』に修正する。
- ・その他の事項については、了承。

③平成 26 年度事業計画について（技倫資料 50-5）

- ・了承。

④来年度の具体的な活動計画及び WG の今後の進め方について

- ・事例集収集だけであれば WG でなくてもできるので、鶴原幹事が各学協会に先日のアンケート結果報告の際に、事例集に関する調査を行う。【決定事項】
- ・事例集の調査結果が出たら、協議会で議論する。【決定事項】
- ・WG 体制そのものは現在のままとし、体制見直しが必要となった際に WG 主査も含めて検討する。【決定事項】
- ・上記の(a)については、(b)が一段落してから検討する。【決定事項】

⑤アンケート結果分析に基づくアクション計画及び第 9 回技術倫理協議会公開シンポジウムのまとめ（技倫資料 50-6, 7, 8）

- ・ホームページ掲載に際しては事前に講師等の了解を必要があるが、できるだけ早く掲載する。

⑥WECC2015 の企画について（技倫資料 50-9）

- ・基調講演①は、Dr. Greg Adamson（Vice President of IEEE SSIT, Univ of Melbourne）に依頼する。【決定事項】
- ・基調講演②は、日本学術会議にお願いする（札幌幹事）【決定事項】
- ・Ⅲ-① 1 の講演者は、三木議長および札幌幹事に一任する。【決定事項】
- ・Ⅲ-① 2 の「②国内講演者（学協会 A）」は、古くから日本でも倫理綱領等を作成し、その後も時代に応じて改正している、という観点から土木学会にお願いすることとし、三木議長から皆川委員へ依頼する。【決定事項】
- ・Ⅲ-① 2 の「③国内講演者（学協会 B）」は、これまで事例集を作成したり、教育をよくやっているという観点から電気学会にお願いすることとし、酒井委員が持ち帰り検討する。【決定事項】
- ・Ⅲ-① 3 の「①国内講演者（日本技術士会、等）」は、林委員が持ち帰り検討する。【決定事項】
- ・Ⅲ-① 3 の「③海外講演者（APEC Engineer 加盟組織）」は、橋本委員が持ち帰り検討する。【決定事項】

⑦会員活動報告（技倫資料 50-10）

	学協会名	報告概要
1	安全工学会	
2	電気学会	・12月17日開催の倫理委員会にて下記の講演。 講演者：梶山 佳伸 氏（日本製薬工業協会 コード委員会実務委員） 題目：製薬業界における企業倫理と透明性について

		<ul style="list-style-type: none"> ・3月4日に第7回技術者倫理フォーラムを開催予定 テーマ：新技術者倫理事例集の鉄道事例と福知山線事故について考える ・3月19日全国大会シンポジウム開催予定 テーマ：科学技術リテラシーの向上と技術者倫理教育について ・3月24日開催の倫理委員会にて下記の講演を予定。 講演者：甲斐 常逸 氏 題目：福島原発一事故に学ぶ安全管理
3	電子情報通信学会	<ul style="list-style-type: none"> ・2月27～28日に山代温泉 瑠璃光(石川県加賀市)にて「インターネットと情報倫理教育」をメインテーマとして、開催予定。 (http://www.ieice.org/~site/) ・2014年総合大会(於新潟大学)において「福島原発事故を教訓に技術者倫理を考える」のテーマでシンポジウムを開催予定。 日時：2014年3月20日(木)9:00～12:00 基調講演「福島原発事故の真相と課題(仮題)」 北澤宏一氏(東京都市大学長・福島原発事故独立検証委員会委員長) 講演「福島原発事故に見る技術倫理問題(仮題)」 札野順氏(金沢工業大学教授) パネル討論 パネラー：北澤宏一氏、札野順氏、笠原正雄氏、三木哲也氏、 司会：酒井善則氏
4	土木学会	<p>「土木技術者の倫理規定」(1999年制定)の改定を「倫理規定検討特別委員会」(委員長：阪田憲次元会長)において検討しており、委員会としての改定素案が確定した。今後、理事会の審議およびパブリックコメントを経て、2014年内には改定版を制定する予定。特別委員会には、技術倫理協議会の構成員、弁護士、科学コミュニケーションの専門家にも参加していただいている。</p>
5	日本化学会	
6	日本機械学会	<ul style="list-style-type: none"> ・2013年12月4日第3回技術倫理委員会を開催し、次年度年次大会ワークショップのテーマ、学会誌技術倫理に関する特集記事、高等教育機関での技術倫理に関するWGの活動内容と今後の予定等について議論した。
7	日本技術士会	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回倫理委員会(12/11)を開催し、3小委員会の活動報告。倫理事例集への追加案件、倫理相談サイト検討、第2回技術者倫理WS計画(11/9予定)、月刊「技術士」応用倫理シリーズ計画について議論。 ・第6回技術者倫理シンポジウム(5/21予定)の計画。 テーマ：社会的責任(SR)と技術士の果たす役割 講師(予定)：損保ジャパンCSR部上席顧問 関 正雄氏 経団連 政治社会本部長 斎藤 仁 氏

		技術者倫理研究会 杉本 泰治 氏
8	日本原子力学会	平成25年12月12日 第75回倫理委員会開催。 平成26年1月15日 第76回倫理委員会開催。 現在の主要テーマは下記3点。 (1)倫理規定の見直し。改定案はほぼ出来上がる。組織の中の個人(会員)のあり方について規定。 (2)平成26年1月29日の倫理研究会の準備。 (3)会員からの要請に応じて倫理教育を計画。
9	日本建築学会	・倫理綱領・行動規範の改定の検討(2014年3月改定予定) ・「日本建築学会の技術者倫理教材」改訂(2014年3月刊行予定)
10	日本工学アカデミー	
11	日本工学教育協会	・国際ワークショップ実施(11/23土):海外5名招待,聴講者15名. ・第14回ワークショップ実施(11/24日):講師3名,聴講者29名. ・倫理綱領改定パブリックコメント募集中(1/31締切) ・第62回年次大会(8/28-30@広島大学)にてオーガナイズドセッション開催予定.
12	日本非破壊検査協会	
13	日本マリンエンジニアリング学会	・JIME CPD 基礎コース講習会において「技術者倫理」の講義をした(H25.8.22). ・また、マリンの分野における「技術者倫理」関わるに事例を集めている。

⑧次回協議会の日程について

2014年3月28日(金) 3:00~5:00pm 於東京理科大学 森戸記念館 2F 会議室

(以上)